

平成 30 年度
教育委員会の事務に関する点検評価報告書
(平成 29 年度分)

平成 30 年 12 月

千早赤阪村教育委員会

教育委員会の事務に関する点検評価の実施について

千早赤阪村教育委員会では、社会情勢、教育環境の変化を踏まえて、毎年、教育委員会議で「千早赤阪村教育委員会教育方針」を決定し、教育行政の推進に取り組んでいます。

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」では、「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。」と規定されています。これに基づき、千早赤阪村教育委員会は、平成 29 年度の取り組み状況について次のとおり点検及び評価を実施しました。

目 的

本村教育行政事務の実施状況を検証し、課題や今後の方向性を明らかにして、効果的な教育行政の推進を図ります。また、その結果を村議会に報告するとともに、公表することにより、住民への説明責任を果たします。

対 象

今回は、平成 29 年度に実施した主要な事務事業を対象としました。

方 法

点検・評価にあたっては、「教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図る」と規定されており、本村教育委員会では、事務局職員が自己点検・自己評価をする過程で次の有識者の意見をいただきました。

(50 音順 敬称略)

田中 鈴代(元千早赤阪村 P T A 連絡協議会会長・人権擁護委員)

中尾 正明(元村立中学校校長)

目 次

教育委員会の事務に関する点検評価の実施について	1
-------------------------------	---

I. 教育委員会の活動・教育財政

1 教育行政	4
2 教育財政	5
(1) 教育委員会所管の決算	5
(2) 教育施設	7

II. 教育委員会の点検評価

1 教育環境の向上	9
(1) 施設整備	9
(2) 安全対策	10
2 学習指導	11
(1) 支援教育の充実	11
(2) 英語教育の推進	12
(3) 情報教育の推進	13
3 生徒指導	14
4 人権教育	15
5 幼児教育	16
6 学校保健・健康教育	17
7 学校給食	18
(1) 給食の提供、食育	18
(2) 施設整備	20
8 就学支援	21
(1) 就学援助費給付	21
(2) 通学(園)バス運行	22
(3) 遠距離通学補助	23
9 教職員研修・研究	24
10 教育相談	25

11	文化振興	26
(1)	各種講座の開催	26
(2)	くすのきホール管理	28
(3)	くすのきホール図書室運営等	29
12	スポーツ振興	30
(1)	施設管理	30
(2)	生涯スポーツ振興	31
13	青少年の育成	32
14	文化財保護	34
15	郷土資料館管理	35

【別紙】

①	学校保健取組み状況	37
②	学校給食の実施状況	38
③	体育施設利用実績	39
④	村体育協会関係事業	39
⑤	B & G海洋センター関係事業	40
⑥	村スポーツ推進委員協議会活動	41
⑦	村青少年指導員連絡協議会事業	42

I. 教育委員会の活動・教育財政

1. 教育行政

(1)教育委員会議

教育委員会議（定例会）を毎月開催しています。平成 29 年度では定例会議を 12 回、臨時会議 2 回開催し、議案 17 件を審議承認しました。審議案件は、教育事務に係る予算（当初及び補正）についての村議会議案提出案件、教育委員会関係の規則の改正や要綱の制定、平成 30 年度使用教科用図書の選定についてなどでした。

(2)学校園訪問及び校長等との懇談

学校園について理解を深め、よりよい学校教育を進めるため、学校・幼稚園の訪問を実施しました。

実施日 7 月 4 日 (火)

訪問校（園） こそせ幼稚園、赤阪小学校、千早小吹台小学校、中学校、学校給食センター

(3)教育委員会委員としての研修への参加

5 月 29 日 (月) 大阪府町村教育委員会連絡協議会定期総会・研修会（ホテルアウリーナ大阪）

8 月 17 日 (木) 大阪府町村教育委員会連絡協議会夏季研修会（豊能町立中央公民館）

11 月 6 日 (月) 大阪府市町村教育委員研修会（ホテルアウリーナ大阪）

11 月 16 日 (木) 南河内地区市町村教育委員研修会

（羽曳野市立生活文化情報センター LIC はびきの）

1 月 23 日 (火) 大阪府町村教育委員会連絡協議会研究会（太子町万葉ホール）

(4)教育委員会主催事業等への出席

- ① 小学校・中学校の入学式・卒業式、幼稚園の入園式・卒園式（各委員）
- ② 幼稚園・小学校・中学校の運動会・体育祭・文化祭（各委員）
- ③ 成人式（各委員）
- ④ 南大阪駅伝競走大会 2 月 4 日 (日) PL 教団本庁敷地内（教育長）

(5)教育委員会委員(平成20年度～平成29年度)

期 間 職 名	H20. 9. 11 ～H21. 3. 31	H21. 4. 1 ～H25. 3. 31	H25. 4. 1 ～H25. 6. 19	H25. 6. 20 ～H26. 11. 13	H26. 11. 14 ～H29. 6. 19
委員長	東條 けい子	東條 けい子	東條 けい子	東條 けい子	杉本 重雄
委員長職務代理者	矢倉 龍男	矢倉 龍男	山口 光代	山口 光代	東條 けい子
委 員	山口 光代	山口 光代	八野 章	八野 章	八野 章
委 員	八野 章	八野 章		杉本 重雄	東條 由紀子
教育長	山本 澄雄	田村 登	矢倉 龍男	矢倉 龍男	矢倉 龍男
期 間 職 名	H29. 6. 20 ～H29. 11. 13	H29. 11. 14 ～H30. 11. 13			
委員長職務代理者	八野 章	八野 章			
委 員	東條 けい子	東條 由紀子			
委 員	東條 由紀子	中村 泰雄			
委 員	中村 泰雄	瀬戸 葉子			
教育長	矢倉 龍男	矢倉 龍男			

2. 教育財政

(1) 教育委員会所管の決算

歳 出

単位：千円

区 分	細 区 分	平成28年度	平成29年度	増減
教育総務費	教 育 委 員 会 費	90,934	89,117	▲1,817
	教 育 指 導 費	14,574	11,229	▲3,345
	教 育 振 興 費	1,161	6,183	5,022
	小 計	106,669	106,529	▲140
小学校費	学 校 管 理 費	28,915	21,909	▲7,006
	教 育 振 興 費	11,987	12,135	148
	小 計	40,902	34,044	▲6,858
中学校費	学 校 管 理 費	8,374	8,749	375
	教 育 振 興 費	4,377	5,302	925
	小 計	12,751	14,051	1,300
幼稚園費	幼 稚 園 費	35,863	37,339	1,476
社会教育費	社会教育総務費	2,353	2,380	27
	生涯学習費	3,919	4,392	473

	文化財保護費	1,467	2,658	1,191
	人権教育振興費	18	20	2
	資料館費	4,188	4,755	567
	くすのきホール管理費	12,978	12,910	▲68
	小計	24,923	27,115	2,192
保健体育費	保健体育総務費	4,186	4,274	88
	体育施設費	17,607	13,745	▲3,862
	学校給食費	60,552	51,293	▲9,259
	小計	82,345	69,312	▲13,033
合計		304,453	288,390	▲16,063

○主な増減理由

教育振興費	幼稚園から中学校までの学校給食費の補助金による増
小学校費	千早小吹台小学校給食用エレベーター改修工事、石積み補修工事による減
社会教育費	文化財保護費の史跡上赤坂城跡整備工事による増や、資料館費の機械器具費による増。
保健体育費	村民運動場整備工事、村民運動場照明設備工事による減

歳入

単位：千円

区分	細区分	平成28年度	平成29年度	増減
使用料及び手数料	幼稚園授業料	3,251	1,986	▲1,264
	保健体育使用料	4,108	3,855	▲253
	社会教育使用料	590	361	▲229
	小学校使用料	20	18	▲2
	中学校使用料	6	6	0
	小計	7,975	6,226	▲1,749
教育費国庫補助金	教育費補助金	19	12	▲7
教育費府補助金	教育費補助金	0	99	99
雑入	雑入	3,649	3,067	▲582
合計		11,643	9,404	▲2,337

○主な増減理由

幼稚園授業料	園児数の減少及び保育料軽減措置による。(46人⇒29人)
雑入	海外派遣事業参加負担金の減による。(1,200千円⇒800千円)

(2)教育施設（在籍園児・児童・生徒数は平成 29 年 5 月 1 日現在）

■千早赤阪村立こごせ幼稚園

所在地	大阪府南河内郡千早赤阪村大字水分 56 番地
敷地面積	1, 542 m ²
構造・建築年	鉄筋コンクリート造平屋建・平成 11 年
在籍園児数	3 歳児 3 人、4 歳児 13 人、5 歳児 13 人 計 29 人

■千早赤阪村立赤阪小学校

所在地	大阪府南河内郡千早赤阪村大字水分 56 番地
敷地面積	5, 077 m ²
構造・建築年	鉄筋コンクリート造 2 階建・昭和 36 年
在籍児童数	1 年生 14 人、2 年生 13 人、3 年生 19 人、4 年生 18 人、5 年生 17 人、 6 年生 20 人、計 101 人

■千早赤阪村立千早小吹台小学校

所在地	大阪府南河内郡千早赤阪村大字小吹 68 番地の 780
敷地面積	11, 080 m ²
構造・建築年	鉄筋コンクリート造 2 階建・昭和 51 年
在籍児童数	1 年生 16 人、2 年生 27 人、3 年生 21 人、4 年生 11 人、5 年生 19 人、 6 年生 17 人、計 111 人

■千早赤阪村立中学校

所在地	大阪府南河内郡千早赤阪村大字東阪 25 番地
敷地面積	11, 359 m ²
構造・建築年	鉄筋コンクリート造 2 階建・昭和 33 年
在籍生徒数	1 年生 38 人、2 年生 32 人、3 年生 39 人、計 109 人

■千早赤阪村立学校給食センター

所在地	大阪府南河内郡千早赤阪村大字桐山 258 番地
敷地面積	1, 691 m ²
構造・建築年	鉄筋コンクリート造一部 2 階建・平成 5 年

■千早赤阪村B&G海洋センター

所在地	大阪府南河内郡千早赤阪村大字東阪 255 番地の 1
敷地面積	10,345 m ²
構造・建築年	体育館：鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 2 階建・平成 2 年 25 メートルプール、幼児用プール：平成 2 年

■千早赤阪村民運動場

所在地	大阪府南河内郡千早赤阪村大字東阪 117 番地の 5
敷地面積	10,274 m ²
建築年	昭和 59 年

■千早赤阪村立テニスコート

所在地	大阪府南河内郡千早赤阪村大字東阪 121 番地の 1
敷地面積	1,927 m ²
建築年	昭和 61 年

■くすのきホール

所在地	大阪府南河内郡千早赤阪村大字水分 263 番地
敷地面積	3,272 m ²
構造・建築年	鉄筋コンクリート一部鉄骨造 2 階建・平成 5 年

■千早赤阪村立郷土資料館

所在地	大阪府南河内郡千早赤阪村大字水分 266 番地
敷地面積	1,139 m ²
構造・建築年	鉄筋コンクリート造 2 階建・昭和 61 年

II. 教育委員会の点検・評価

平成 29 年度に実施した主要施策や事業を対象として、次ページ以降で項目ごとに評価シートにより、点検・評価を実施しています。

平成 30 年度実施教育行政点検評価票

1. 事務事業名称	1 教育環境の向上 (1)施設整備	
2. 事業の概要	学校（園）の安全管理、教育環境の整備を図る。	
3. 平成 29 年度取組状況	○千早小吹台小学校において、給食配膳室漏水工事及び給湯器の設置、支援学級教室用黒板やインターホンの設置を行った。 ○幼稚園の防犯対策として、防犯カメラを設置を行った。	
4. 成果と評価	○千早小吹台小学校における支援学級室の改修工事を行いました。翌年度に支援学級教室に空調機の設置予定。 ○各学校施設の維持管理を適正に行った。	点検結果
		B
5. 今後の課題と方向性	○学校施設の耐震化については、非構造部材（天井材、バスケットゴールなど）の落下対策などの課題がある。 ○各学校園の施設において、経年劣化における改修工事が増加してくる状況のなか、早期に課題発見し計画的な改修が必要であるため、長寿命化計画を策定する（H31）。	方向性
		B

・点検結果欄 A：目標を上回って達成 B：概ね目標どおり達成 C：目標を下回った

・方向性欄 A：拡充 B：現状維持 C：見直し D：縮小 E：休止・廃止

平成 30 年度実施教育行政点検評価票

1. 事務事業名称	1 教育環境の向上 (2)安全対策	
2. 事業の概要	学校（園）の安全管理と教育環境の整備を図る。	
3. 平成 29 度取組状況	○中学校の安全確保のため、不審者等の侵入を防ぐ門扉及びフェンスを設置するための設計をした。 ○引き続き、小学校の安全確保のため、赤阪小学校及び千早小吹台小学校においている校務員が、児童生徒の登下校時に対する監視を担当した。また、地域ぐるみによる学校安全体制として、校区ごとに子ども安全見守り隊や青色防犯パトロール隊がボランティアで組織されており、校区での見守り活動が行われた。	
4. 成果と評価	○行政によるハード、ソフト両面による安全対策とともに、地域住民などのボランティアによる見守りにより、園児・児童・生徒の安全が確保された。	点検結果
		B
5. 今後の課題と方向性	○学校における防犯対策として、ソフト面の取組みとともに、ハード面での施策推進も必要であるが、学校の立地条件など諸条件により困難な面もあり、今後も更なるソフト面での取組みの充実を図る必要がある。 ○登下校時の安全確保には、千早赤阪村シルバー人材センターへの委託による監視員の配置とともに、ボランティアによる子ども安全見守り隊・青色防犯パトロール隊の一層の協力を、学校園を通じてお願いする。 ○各校区に地域安全センターが設置されており、学校、PTA、子ども安全見守り隊・青色防犯パトロール隊、警察署等関係団体が連携協力をし、防犯力を高める。	方向性
		B

・点検結果欄 A：目標を上回って達成 B：概ね目標どおり達成 C：目標を下回った

・方向性欄 A：拡充 B：現状維持 C：見直し D：縮小 E：休止・廃止

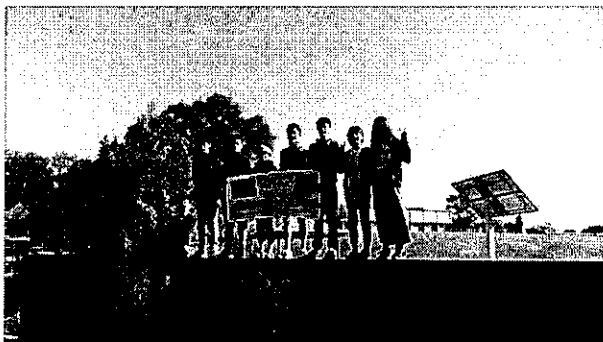
平成 30 年度実施教育行政点検評価票

1. 事務事業名称	2 学習指導 (1)支援教育の充実	
2. 事業の概要	支援が必要な園児・児童・生徒に対して、個別の支援計画、指導計画を作成し、個人に合ったカリキュラムで教育を進める。	
3. 平成 29 年度取組状況	○支援が必要な園児・児童・生徒に対して、個別の支援計画、指導計画を作成し、個に応じた教育カリキュラムのもと学習指導を行った。 ○介助が必要な園児・児童については介助員を任用して、配慮した。 ○障がい種別による支援学級設置を進め、各校に以下の支援学級を設置した。 ・赤阪小学校 知的障がい学級 情緒障がい学級 ・千早小吹台小学校 知的障がい学級 情緒障がい学級 肢体不自由学級 ・村立中学校 知的障がい学級 情緒障がい学級 ○支援学級教職員の教育技術向上のため下記研修を行った。 ・東部支援教育コーディネーター研修 ・南河内地区支援教育ブロック研修 ・大阪府教育センター主催研修 ・千早赤阪村支援学級担当者連絡協議会	
4. 成果と評価	○各校園で、支援が必要な園児・児童・生徒に対して、きめ細やかな教育を実施できた。 ○支援教育コーディネーターを中心に、各校園で支援教育会議を開き、個別のケース検討会議等を行った。 ○大阪府立富田林支援学校、藤井寺支援学校、大阪南視覚支援学校の教員を、訪問相談事業を活用して必要に応じて招聘し、授業見学から指導助言をしていただいたり、教育相談や発達診断をしていただいたりして児童生徒についての認識を深めた。	点検結果
		B
5. 今後の課題と方向性	○支援が必要な園児・児童・生徒に対して、個別の支援計画、指導計画を作成し、個人に合ったカリキュラムで教育を進める。今後も引き続き障がいをもつ子どもの就学が見込まれるため、できるだけ早い段階で就学相談等の対応を、健康福祉課や各校園・所と連携しながら進めていく。 ○就学児のニーズに合わせ、障がい種別に応じた支援学級入級を進める。 ○通級指導教室を活かして、課題に応じた自立・学習の支援推進に努める。	方向性
		A

・点検結果欄 A：目標を上回って達成 B：概ね目標どおり達成 C：目標を下回った

・方向性欄 A：拡充 B：現状維持 C：見直し D：縮小 E：休止・廃止

平成 30 年度実施教育行政点検評価票

1. 事務事業名称	2 学習指導 (2)英語教育の推進	
2. 事業の概要	村の教育の重点施策として、村立幼稚園（4歳児）から中学校3年生まで、英語教育を進めていく。	
3. 平成 29 年度取組状況	○文部科学省教育課程特例校として、小学校1年から全学年において、外国語活動を実施してきた。 ○中学校の全学年の生徒を対象に英語検定を実施した。 ○中学生海外派遣事業を実施した。（オーストラリア・ブリスベン） 平成29年8月1日～8月10日 Centenary 州立高校 	
4. 成果と評価	○教育課程特例校の指定を受け、小学校における外国語活動の研究授業を行って大学教授等を招聘し、指導を仰いだことにより、実践が深まった。また、小・中学校間の英語に関する連携も進んだ。 ○英語検定受検は、学年・受験級によっては目標を下回った結果であった。 ○海外派遣事業は、引き続き高校生まで対象を広げ募集したが、昨年12人から8人に参加者は減員し、高校生の応募はなかった。引き続き高校生の募集を掛けていく。	点検結果
		B
5. 今後の課題と方向性	○今後、村立小学校教職員の退職および転勤に伴う指導者の入れ替わりがあっても、小学校の外国語活動の質を維持するため、指導者の研修が必要。 ○中学生の英語検定を引き続き実施していく。 ○小学校英語について、新学習指導要領の先行実施に向けて、あり方を検討する。 ○海外派遣事業においては引き続き実施内容を検討する。	方向性
		B

・点検結果欄 A：目標を上回って達成 B：概ね目標どおり達成 C：目標を下回った

・方向性欄 A：拡充 B：現状維持 C：見直し D：縮小 E：休止・廃止

平成 30 年度実施教育行政点検評価票

1. 事務事業名称	2 学習指導 (3)情報教育の推進	
2. 事業の概要	様々な教科・領域の学習活動において、I C T機器を活用して、効果的な授業を行う。	
3. 平成 29 年度取組状況	○I C T機器を活用して教科などの学習活動は、引き続き、利用している。 ○ハードについては、校内用パソコン及びパソコン教室に設置しているパソコン及びサーバなどの更新を計画していたが、平成 3 0 年度以降に順次パソコンの整備を行う。	
4. 成果と評価	○様々な教科等の学習で映像等を示すことが増え、視覚支援も含め、理解の促進につながっている。 ○児童生徒が、校外学習等で必要な情報や進路に関する情報等をパソコンで調べたりする学習活動を行うことを通じて、情報活用力の向上を図った。 ○小学校ではP C室の利用が減っており、ローマ字入力など、技能の定着を系統的に図るよう、利用計画を策定するなどの試みを進めている。 ○タブレットを使用する教員は年々増加している。	点検結果
		B
5. 今後の課題と方向性	○情報活用力の向上として、さらにI C T機器の活用を図る。 ○教職員のI C T機器活用能力には差があるため、I C T研修を行っていく必要がある。 ○情報モラル教育について取り組みを進める。 ○教職員の情報管理について、ガイドラインなどを作成していく。	方向性
		B

・点検結果欄 A：目標を上回って達成 B：概ね目標どおり達成 C：目標を下回った

・方向性欄 A：拡充 B：現状維持 C：見直し D：縮小 E：休止・廃止

平成 30 年度実施教育行政点検評価票

1. 事務事業名称	3 生徒指導	
2. 事業の概要	学校、幼稚園における全ての教育活動において、人間としての基本的な倫理観や規範意識を身に付ける指導体制を確立する。	
3. 平成 29 年度取組状況	○いじめ等問題行動に対して、早期発見、早期対応を行う体制づくりを行い、村幼小中生活指導担当者会議（村生指）において情報共有を図った。 ○不登校への対応、減少に向けて、ＳＳＷ（スクールソーシャルワーカー）、ＳＣ（スクールカウンセラー）などを積極的に活用した。	
4. 成果と評価	○村幼小中生活指導担当者会議（村生指）において、園児・児童・生徒の様子を積極的に情報交換し、課題の早期発見、課題への早期対応の意識向上を図った。また、村生指の報告内容を毎月の教育委員会議でも報告し、村立学校園の子どもたちの実態報告と課題認識、解決結果等の共有に役立てた。 ○要保護児童対策地域連絡協議会と連携し、生活面において支援を要する子どもや家庭について、ケース会議を行った。	点検結果
		A
5. 今後の課題と方向性	○千早赤阪村としての「いじめ防止基本方針」を策定する。 ○千早赤阪村生活指導連絡会議において情報共有を今後も進めていく。 ○外部人材や関係機関との連携の充実を図っていく。	方向性
		B

・点検結果欄 A：目標を上回って達成 B：概ね目標どおり達成 C：目標を下回った

・方向性欄 A：拡充 B：現状維持 C：見直し D：縮小 E：休止・廃止

平成 30 年度実施教育行政点検評価票

1. 事務事業名称	4 人権教育	
2. 事業の概要	大阪府及び千早赤阪村における「人権教育の基本方針」「人権教育推進プラン」に基づいた人権教育の充実、推進を図る。	
3. 平成 29 年度取組状況	○教職員の人権意識の向上を図るために、研修を実施した。 ・大阪府教育センター作成の人権リーフレット（1～13）を活用し各校にて研修を実施。 ○東人研（東部人権教育研究会）、南人教（南河内地区人権教育研究会）との連携を図り、教職員の人権教育についての研修を深めた。 ○各学校園で特色のある取り組みを行った。 ・異年齢集団による仲間作り ・「パラリンピックキャラバン」訪問による障がい者理解人権学習 ・福祉労働体験（春の家、授産施設等）を通しての人権学習	
4. 成果と評価	○学校園において、様々な研修等を通じて、人権についての教職員の意識が高まってきている。 ○大阪府教育センターが作成したリーフレットを配布し、各校で研修を行うことを通じて、若手教職員の人権教育についての認識を育んだ。 ○障がい者理解教育等では、外部人材や施設等を活用し、児童生徒の人権意識が高まってきている。	点検結果
		B
5. 今後の課題と方向性	○教職員の研修をより工夫して今後も行っていく。 ○園児・児童・生徒の人権意識の育成を今後も、様々な教育活動の中において計画的に行っていく。 ○保護者や地域への啓発も含めた実践の場づくり等の可能性を探る。	方向性
		A

・点検結果欄 A：目標を上回って達成 B：概ね目標どおり達成 C：目標を下回った

・方向性欄 A：拡充 B：現状維持 C：見直し D：縮小 E：休止・廃止

平成 30 年度実施教育行政点検評価票

1. 事務事業名称	5 幼児教育											
2. 事業の概要	義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、幼児を保育し、幼児の健やかな成長のために適当な環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的とする。(学校教育法第 22 条)											
3. 平成 29 年度取組状況	○平成 12 年開園以来、3 歳児保育を引き続き実施した。 (3 歳児 3 人、4 歳児 13 人、5 歳児 13 人 計 29 人) ○週 3 回の給食実施により、正しい食事の仕方などの教育を行った。 ○正規保育時間終了後、希望者に預かり保育を実施した。 3 歳児については、4 月から特別な理由がある場合のみ許可し、給食が始まる 5 月からは 4 歳児、5 歳児同様、希望者に引き続き実施した。 預かり保育実施状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年齢</th> <th>延人数</th> <th>実施日数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3 歳</td> <td>76 人</td> <td rowspan="3">172 日</td> </tr> <tr> <td>4 歳</td> <td>320 人</td> </tr> <tr> <td>5 歳</td> <td>550 人</td> </tr> </tbody> </table> ○通園のためのバス運行を行うとともに、園行事にも利用した。 (運行委託料 2,667,816 円)		年齢	延人数	実施日数	3 歳	76 人	172 日	4 歳	320 人	5 歳	550 人
年齢	延人数	実施日数										
3 歳	76 人	172 日										
4 歳	320 人											
5 歳	550 人											
4. 成果と評価	○3 歳児から保育をすることにより、低年齢児から集団での行動を身につけさせることができた。 ○給食の実施により、正しい食事の仕方、食習慣を身につけさせ、栄養バランスのとれた食事を提供することで、幼児の健康増進に効果があった。 ○預かり保育の実施により、幼児の健全な心身の発達を促し、保護者の子育て支援に資することができた。	点検結果 B										
5. 今後の課題と方向性	○園児の減少に伴い、現状として幼稚園教育の一つの大きな目標である集団教育への影響が懸念される。幼保一体化など社会動向を踏まえ、幼稚園のあり方を検討する必要がある。 ○園児の中で特別な支援が必要な園児が年々増加している。介助員を付ける等対応しているが、職員数が少ないため、様々な園児のサポートを行える教員を今後も状況に応じて増員し、子どもたちの支援を手厚くする。	方向性 A										

・点検結果欄 A：目標を上回って達成 B：概ね目標どおり達成 C：目標を下回った

・方向性欄 A：拡充 B：現状維持 C：見直し D：縮小 E：休止・廃止

平成 30 年度実施教育行政点検評価票

1. 事務事業名称	6 学校保健・健康教育	
2. 事業の概要	園児、児童及び生徒並びに教職員の健康維持増進を図る。	
3. 平成 29 年度取組状況	○健康診断 【別紙①参照】 ○歯みがき指導 【別紙①参照】 ○学校園で負傷を場合の治療費の一部給付を目的とする(独)日本スポーツ振興センターへの加入・給付事務を行った。主な負傷は、骨折・打撲・捻挫であった。 ○負傷時に迅速に手当が受けられるようタクシーによる通院費を措置した(負傷児童・生徒搬送タクシー代 55,120 円)。	
4. 成果と評価	○学校保健安全法に定める園児、児童及び生徒並びに教職員の健康保持を図り、学校教育の円滑な実施とその成果の確保という目的を達成できた。 ○歯みがき指導では、子どもたち及び教職員の意識の向上がみられ、毎年の積み重ねの成果が表れている。	点検結果
		B
5. 今後の課題と方向性	○特に大きな課題はないが、近隣市町から情報を入手するなどし、適正な実施が図られるように学校園と連携する。	方向性
		B

・点検結果欄 A：目標を上回って達成 B：概ね目標どおり達成 C：目標を下回った

・方向性欄 A：拡充 B：現状維持 C：見直し D：縮小 E：休止・廃止

平成 30 年度実施教育行政点検評価票

1. 事務事業名称	7 学校給食 (1)給食の提供、食育
2. 事業の概要	園児・児童・生徒に安全な給食を提供する。 給食を通じた食に関する指導の実施や、地場産物の活用を高めるなど、食育の推進に努める。
3. 平成 29 年度取組状況	○学校給食の実施 【別紙②参照】 ・アレルギー食材代替食の提供 10人 ・弁当給食、バイキング給食の実施 各1回   ○学校給食の安全・衛生管理 ・食材購入の際の産地、加工食品の成分、製法等の確認を行った。 ・食材等の放射性物質検査（食材検査は月に1回、1食まるごと検査は学期に1回）を実施した。 ・異物混入防止など衛生管理対策として、器具点検の強化など作業工程を改善した。 ・給食関係職員、調理員衛生講習を実施した。 ・千早赤阪村学校給食食物アレルギー対応検討委員会を開催し、安全な対応食提供を目的とした基本方針に基づいて、「千早赤阪村学校給食におけるアレルギー対応の手引き」を策定した。 ○学校園において食に関する指導を行った。 ○地場産物の利用（みかん・玉ねぎ・じゃがいも・きゅうり・ナス等） ・毎年地場産農産物を利用しており、3,125kgを購入した。

4. 成果と評価	○栄養バランスのとれた豊かな給食を提供することができた。 ○献立作成委員会・毎月の物資購入委員会において、保護者・学校園代表と献立や使用食材を検討するとともに、給食における子どもの食の状況を把握することで、よりふさわしい給食提供に努めることができた。 ○食物アレルギーを持つ園児・児童・生徒へのアレルゲン食材代替食を提供することにより、子どもの健康保持に資することができた。 ○学校との連携により、学校行事を考慮した給食の提供ができた。 ○「千早赤阪村学校給食衛生管理の手引き」に基づき、安全・衛生の確保に努めることができた。 ○栄養教諭が各学校園において食に関する指導を行うことで、給食を幼小中一貫した食育の生きた教材として活用できた。 ○地場産物を積極的に利用することができた。	点検結果
5. 今後の課題と方向性	○食材の購入、調理等で安全の確保に留意する。 ○給食費の滞納が生じないよう徴収に努める。 ○食品価格の高騰、消費税増税の場合、給食費の増額の検討が必要である。 ○「千早赤阪村学校給食におけるアレルギー対応の手引き」に基づき、安全できめ細かい食物アレルギー対応食を提供する。 ○嘱託管理栄養士による、食物アレルギー対応、食に関する指導の充実を図る。	方向性
		A
		B

・点検結果欄 A：目標を上回って達成 B：概ね目標どおり達成 C：目標を下回った

・方向性欄 A：拡充 B：現状維持 C：見直し D：縮小 E：休止・廃止

平成 30 年度実施教育行政点検評価票

1. 事務事業名称	7 学校給食 (2)施設整備	
2. 事業の概要	安全な給食を提供するため、施設の維持管理、整備を行う。	
3. 平成 29 年度取組状況	○衛生環境の向上及び安全に調理業務ができるよう、村立学校給食センター内調理場及び洗浄室の床部分の補修、塗直しを行った。  	
4. 成果と評価	○修繕により、衛生環境の向上及び安全な調理業務の実施が図れた。	点検結果
		B
5. 今後の課題と方向性	○学校給食センターの経年劣化に伴う修繕及び備品の更新を計画的に進める。	方向性
		B

・点検結果欄 A：目標を上回って達成 B：概ね目標どおり達成 C：目標を下回った

・方向性欄 A：拡充 B：現状維持 C：見直し D：縮小 E：休止・廃止

平成 30 年度実施教育行政点検評価票

1. 事務事業名称	8 就学支援 (1)就学援助費等給付																									
2. 事業の概要	○経済的な理由により、就学が困難と認められる児童・生徒の保護者に、学校での諸費用の一部を援助する。 ○支援学級在籍の児童生徒の保護者に、学校での諸費用の一部を、特別支援教育就学奨励費として支給する。 ○中学校夜間学級に就学する生徒に、学校での諸費用の一部を援助する。																									
3. 平成 29 年度取組状況	○就学援助費及び特別支援教育就学奨励費について、保護者の申請に基づき準要保護認定を行い、学校での諸費用の一部について、就学援助を実施した。 ＜就学援助費支給状況＞ (単位：人、円) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th><th rowspan="2">給付人数 (28 年度)</th><th colspan="3">給 付 額</th></tr> <tr> <th>学用品費等</th><th>給食費</th><th>計</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学生</td><td>32 (33)</td><td>765, 336</td><td>1, 159, 300</td><td>1, 924, 636</td></tr> <tr> <td>中学生</td><td>18 (11)</td><td>1, 182, 390</td><td>517, 892</td><td>1, 700, 282</td></tr> <tr> <td>計</td><td>44 (44)</td><td>1, 947, 726</td><td>1, 677, 192</td><td>3, 624, 918</td></tr> </tbody> </table> ＜特別支援教育就学奨励費支給状況＞ 給付人数:小学生 1 人、給付額:26, 860 円 (学用品費等:7, 610 円、給食費:19, 250 円)				給付人数 (28 年度)	給 付 額			学用品費等	給食費	計	小学生	32 (33)	765, 336	1, 159, 300	1, 924, 636	中学生	18 (11)	1, 182, 390	517, 892	1, 700, 282	計	44 (44)	1, 947, 726	1, 677, 192	3, 624, 918
	給付人数 (28 年度)	給 付 額																								
		学用品費等	給食費	計																						
小学生	32 (33)	765, 336	1, 159, 300	1, 924, 636																						
中学生	18 (11)	1, 182, 390	517, 892	1, 700, 282																						
計	44 (44)	1, 947, 726	1, 677, 192	3, 624, 918																						
4. 成果と評価	○小・中学校及び関係機関と連携して、就学援助事業を実施し、必要な世帯へ給付することで、教育の機会均等を図ることができた。	点検結果	A																							
5. 今後の課題と方向性	○就学援助費等の支給人数の割合が高くなり、昨今の情勢から引き続き支援が必要である。	方向性	B																							

・点検結果欄 A：目標を上回って達成 B：概ね目標どおり達成 C：目標を下回った

・方向性欄 A：拡充 B：現状維持 C：見直し D：縮小 E：休止・廃止

平成 30 年度実施教育行政点検評価票

1. 事務事業名称	8 就学支援 (2)通学(園)バス運行	
2. 事業の概要	○小学校統合に伴い、通学距離の延びた旧多聞小学校区児童、旧千早小学校区の児童の安全確保のため、通学バスを運行する。 ○小吹台地域から中学校への通学の利便性向上のため、利用者負担を求めて通学バスを運行する。 ○幼稚園統合に伴い、通学距離の延びた旧多聞小学校区園児、旧千早小学校区園児、旧小吹台小学校区園児の安全確保のため、通園バスを運行する。	
3. 平成 29 年度取組状況	○通学(園)バス運行 ・赤阪小学校(1台) 利用者 6人 ・千早小吹台小学校(2台) 利用者 36人 (バス運行委託料 8,395,711円) ・中学校(1台) 利用者 定期利用者 4人、回数券利用者 2,945人 (利用者負担金 770,600円(回数券代含む。)) 【利用者負担額 定期券月額 6,500円、回数券1回 180円】 (バス運行委託料 2,582,863円) ・こごせ幼稚園(1台) 利用者 11人 (バス運行委託料 2,667,816円、バスリース料 697680円)	
4. 成果と評価	○通学(園)バス運行により、児童の登下校時の安全確保が図れた。通学(園)バスを利用して、学校(園)行事等の移動手段としており、保護者負担の軽減と学校(園)行事等の円滑な運行ができた。 ○バス通学生徒の保護者へ通学費補助をすることで、保護者の負担軽減を図ることができた。	点検結果
		B
5. 今後の課題と方向性	○今後、通学バス利用者の減少が予想され、効率的な運行を検討する必要がある。 ○中学校生徒数が減少している中、定期券を購入する生徒が少なく、回数券を利用する生徒が増えている現状もあり、生徒からの回数券負担額の増額も含め、事業の安定化を検討する必要がある。	方向性
		B

・点検結果欄 A：目標を上回って達成 B：概ね目標どおり達成 C：目標を下回った

・方向性欄 A：拡充 B：現状維持 C：見直し D：縮小 E：休止・廃止

平成 30 年度実施教育行政点検評価票

1. 事務事業名称	8 就学支援 (3)遠距離通学補助	
2. 事業の概要	路線バスを利用して中学校へ通学する遠距離通学の生徒に対し、通学バス利用者との負担の均衡を勘案して、通学費を補助する。	
3. 平成 29 年度取組状況	○遠距離通学補助 交付人数 2 人、補助金総額 136,840 円	
4. 成果と評価	○遠距離通学補助をすることにより、保護者の負担軽減を図れた。	点検結果
		B
5. 今後の課題と方向性	○今後も、通学バス利用者との負担の均衡を図るため、引き続き支援が必要であるが、保護者が送迎している実態があることから、通学定期の金額を基準に補助額を算定する方法について見直す余地がある。	方向性
		C

・点検結果欄 A：目標を上回って達成 B：概ね目標どおり達成 C：目標を下回った

・方向性欄 A：拡充 B：現状維持 C：見直し D：縮小 E：休止・廃止

平成 30 年度実施教育行政点検評価票

1. 事務事業名称	9 教職員研修・研究	
2. 事業の概要	教職員の資質向上を図るために、様々な教職員研修を行う。 各校園の学習内容の向上、授業力の向上を目指す校園内での研修をサポートする。また、各担当者とともに担当者会議を適宜開く。 村教委研修だけではなく、大阪府教育センターの研修を積極的に活用し教職員の資質向上を図る。	
3. 平成 29 年度取組状況	○校園長会や教頭会の時間を中心に、大阪府教育委員会の指示伝達事項等を伝える等、管理職研修を行った。 ○府教育センターから指導主事を招き三町村合同研修（太子・河南町）を行った。 ○村立学校該当教員に研究授業の実施・公開を義務付けた。 ・初任者及び2年目、3年目教員研究授業・転任者 外国語活動研究授業 ・千早赤阪村立小・中学校 道德教育研究授業 ○村の各校園の担当者連絡協議会を実施した。 ・学力向上担当者連絡協議会 ・英語教育・外国語活動担当者連絡協議会 ・道德教育推進教師連絡協議会 ・千早赤阪村支援教育担当者会議 ・キャリア教育担当者会 ○村立学校初任者研修を実施した。 ○村CST（専門的理科教員）による観察・実験研修を実施した。 ○村立学校園に勤務するすべての教職員を対象に全体研修を行った。	
4. 成果と評価	○様々な研修を持つことで、教員の資質向上を図ることができた。また、各種連絡協議会を行うことで、村立学校園の様々な教育内容の情報共有を行うことができ、相互理解が深まった。 ○村立幼稚園、小・中学校教職員全体研修では、課題別に分科会に分かれて、情報共有等を行い交流が深まった。	点検結果
		A
5. 今後の課題と方向性	○教職員の資質向上に研修は欠かせない。今後も、教職員研修は充実していきたい。しかし、指導主事一人の体制で、村教委が研修を企画・運営していくことは難しい。今後は、大阪府教育センターの研修受講を進めたり、市町村連携での研修を推進したりするとともに、学校園独自の取り組みを大切に、学校園実施の研修を補助する方向で進めていく。	方向性
		C

・点検結果欄 A：目標を上回って達成 B：概ね目標どおり達成 C：目標を下回った

・方向性欄 A：拡充 B：現状維持 C：見直し D：縮小 E：休止・廃止

平成 30 年度実施教育行政点検評価票

1. 事務事業名称	10 教育相談		
2. 事業の概要	本村の住民に対して、学校園でのことに関して、教育委員会事務局内で教育相談を実施する。 SC、SSWなど専門家による教育相談を実施する。		
3. 平成 29 年度取組状況	○教育委員会事務局にて、随時、教育相談ができるように対応した。 ○専属の相談員はいない。基本的に、指導主事及び教育委員会事務局職員が対応した。 窓口及び電話において相談を受けた。 相談件数：18 件（来庁 18 件、電話 0 件） 【内容】就学、進路関係・・・18 件 ○村立中学校を中心にスクールカウンセラーによる相談活動を実施した（毎週 1 回、中学校来校）。 ○SSWによる教育相談を実施した。 ○SSWによる「おやかい」を実施した。		
4. 成果と評価	○進路、就学相談においては、高等学校進学相談よりも、区域外就学や入学に向けての相談等様々な事情を持った方の来庁があり、個別に内容を聞いたうえでそれぞれに合わせて対応することができた。 ○SC、SSWの相談活動を行うことにより、臨床心理士や社会福祉士の視点から児童・生徒、保護者、教職員の相談に対応できた。 ○専門的な立場から個別にきめ細やかな対応ができた。	点検結果	
		B	
5. 今後の課題と方向性	○教育に関する様々な悩みや疑問等に関しては、今後も教育委員会事務局で常に相談に乗れるように、村民に開かれた教育委員会を目指していく。 ○様々な心の相談や他機関との連携等に関して、SCやSSWを積極的に活用し、専門的立場より相談活動の充実をめざし、今後も実施していく。	方向性	
			B

・点検結果欄 A：目標を上回って達成 B：概ね目標どおり達成 C：目標を下回った

・方向性欄 A：拡充 B：現状維持 C：見直し D：縮小 E：休止・廃止

平成 30 年度実施教育行政点検評価票

1. 事務事業名称	11 文化振興 (1)各種講座の開催																																								
2. 事業の概要	村民の生涯学習の充実を図る。 千早赤阪村の歴史や自然を活かした講座を体系的・継続的に行うことにより生涯学習機会の拡大を進めるとともに、交流人口の増加をめざす。																																								
3. 平成 29 年度取組状況	○村民大学歴史講座 登録者数—47 人（うち、村内 29 人、村内比率 62%） のべ参加人数—149 人（うち、村内 102 人、村内比率 68%） 定員：50 人、受講料：400 円／回、時間：14 時～16 時 前期「中世の近畿、大坂、南河内」 <table><tr><th>回</th><th>開催日時</th><th>テーマ</th><th>講 師</th></tr><tr><td>1</td><td>5 月 12 日（金）</td><td>偽文書「椿井文書」にみる江戸時代の歴史学</td><td>大阪大谷大学文学部 馬部 隆弘</td></tr><tr><td>2</td><td>6 月 9 日（金）</td><td>金剛山をとりまく信仰世界</td><td>阪南大学国際観光学部 和泉 大樹</td></tr><tr><td>3</td><td>7 月 7 日（金）</td><td>中世最大級の城、高屋城跡にせまる</td><td>羽曳野市文化財保護課 井原 稔</td></tr><tr><td>4</td><td>8 月 4 日（金）</td><td>中世村落について～河内長野市域の事例を中心として～</td><td>文化財保存全国協議会全国常任委員 西田 孝司</td></tr></table> 後期「地域の中の博物館」定員：50 人、受講料：400 円／回、時間：14 時から 16 時 <table><tr><th>回</th><th>開催日時</th><th>テーマ</th><th>講 師</th></tr><tr><td>5</td><td>9 月 15 日（金）</td><td>河内の前期古墳を考える</td><td>大阪市立大学大学院文学研究科 岸本 直文</td></tr><tr><td>6</td><td>10 月 13 日（金）</td><td>古市古墳群の時代</td><td>藤井寺市世界遺産登録推進室長 山田 幸弘</td></tr><tr><td>7</td><td>11 月 10 日（金）</td><td>百舌鳥古市古墳群の造営—世界遺産登録の取組みの紹介を兼ねて—</td><td>百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議事務局 十河 良和</td></tr><tr><td>8</td><td>12 月 8 日（金）</td><td>近つ飛鳥博物館の後・終末期古墳</td><td>大阪府立近つ飛鳥博物館副館長 森本 徹</td></tr></table>	回	開催日時	テーマ	講 師	1	5 月 12 日（金）	偽文書「椿井文書」にみる江戸時代の歴史学	大阪大谷大学文学部 馬部 隆弘	2	6 月 9 日（金）	金剛山をとりまく信仰世界	阪南大学国際観光学部 和泉 大樹	3	7 月 7 日（金）	中世最大級の城、高屋城跡にせまる	羽曳野市文化財保護課 井原 稔	4	8 月 4 日（金）	中世村落について～河内長野市域の事例を中心として～	文化財保存全国協議会全国常任委員 西田 孝司	回	開催日時	テーマ	講 師	5	9 月 15 日（金）	河内の前期古墳を考える	大阪市立大学大学院文学研究科 岸本 直文	6	10 月 13 日（金）	古市古墳群の時代	藤井寺市世界遺産登録推進室長 山田 幸弘	7	11 月 10 日（金）	百舌鳥古市古墳群の造営—世界遺産登録の取組みの紹介を兼ねて—	百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議事務局 十河 良和	8	12 月 8 日（金）	近つ飛鳥博物館の後・終末期古墳	大阪府立近つ飛鳥博物館副館長 森本 徹
回	開催日時	テーマ	講 師																																						
1	5 月 12 日（金）	偽文書「椿井文書」にみる江戸時代の歴史学	大阪大谷大学文学部 馬部 隆弘																																						
2	6 月 9 日（金）	金剛山をとりまく信仰世界	阪南大学国際観光学部 和泉 大樹																																						
3	7 月 7 日（金）	中世最大級の城、高屋城跡にせまる	羽曳野市文化財保護課 井原 稔																																						
4	8 月 4 日（金）	中世村落について～河内長野市域の事例を中心として～	文化財保存全国協議会全国常任委員 西田 孝司																																						
回	開催日時	テーマ	講 師																																						
5	9 月 15 日（金）	河内の前期古墳を考える	大阪市立大学大学院文学研究科 岸本 直文																																						
6	10 月 13 日（金）	古市古墳群の時代	藤井寺市世界遺産登録推進室長 山田 幸弘																																						
7	11 月 10 日（金）	百舌鳥古市古墳群の造営—世界遺産登録の取組みの紹介を兼ねて—	百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議事務局 十河 良和																																						
8	12 月 8 日（金）	近つ飛鳥博物館の後・終末期古墳	大阪府立近つ飛鳥博物館副館長 森本 徹																																						

	○博物館講座 登録者数－12 人、延べ参加者数－87 人 全 9 回 ○英会話教室 登録者数－前期 21 人、後期初級 5 人、後期中級 13 人 前期・後期教室 各 10 回(5 月～平成 3 0 年 3 月) ○夏休み親子教室 (7 月 25 日) 平成土器をつくる 参加者数－21 人(村内 19 人、村外 2 人／大人 6 人、子ども 15 人) ○ふれあい展・コンサート 台風により中止	
4. 成果と評価	○歴史講座や夏休み親子教室により、郷土史や日本の歴史への興味・関心を育むことができた。 ○英会話教室により、受講者が英語に興味を持ち、受講生が講座とは別の日にも集まり勉強会を開催するようになるなど、英会話について自主性を育むことができた。	点検評価
		B
5. 今後の課題と方向性	○歴史講座や夏休み親子教室は、地域を活かした内容(テーマ)等での開講を予定している。 ○英会話教室は講師都合により、平成 29 年度末を持って閉講となった。来年度以降の開講に向けて検討が必要となる。 ○今後さらに、幼児から高齢者までより多くの人に、生涯にわたり学び、学習を続けていくきっかけとなる講座・催し等を検討する必要がある。	方向性
		B

・点検結果欄 A：目標を上回って達成 B：概ね目標どおり達成 C：目標を下回った

・方向性欄 A：拡充 B：現状維持 C：見直し D：縮小 E：休止・廃止

平成 30 年度実施教育行政点検評価票

1. 事務事業名称	11 文化振興 (2)くすのきホール管理																																																																																																														
2. 事業の概要	生涯学習活動の振興、文化向上・生涯活動の場として、くすのきホールの維持管理及び貸出し業務を行った。																																																																																																														
3. 平成 29 年度取組状況	○館内の各設備の維持管理は各々の専門業者に委託した。 ○ホール使用時の音響・照明・吊物の操作業務を専門業者委託した。 ○くすのきホール貸出状況 単位：件、人、円 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">月</th><th colspan="3">ホール</th><th colspan="3">会議室</th></tr> <tr> <th>件数</th><th>人数</th><th>使用料</th><th>件数</th><th>人数</th><th>使用料</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>4</td><td>1</td><td>60</td><td>50,100</td><td>21</td><td>369</td><td>7,840</td></tr> <tr><td>5</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>23</td><td>374</td><td>6,090</td></tr> <tr><td>6</td><td>2</td><td>180</td><td>35,330</td><td>30</td><td>561</td><td>8,750</td></tr> <tr><td>7</td><td>10</td><td>280</td><td>0</td><td>29</td><td>695</td><td>9,140</td></tr> <tr><td>8</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>24</td><td>256</td><td>8,090</td></tr> <tr><td>9</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>25</td><td>343</td><td>8,890</td></tr> <tr><td>10</td><td>4</td><td>235</td><td>60,000</td><td>25</td><td>319</td><td>6,650</td></tr> <tr><td>11</td><td>1</td><td>300</td><td>0</td><td>29</td><td>561</td><td>17,360</td></tr> <tr><td>12</td><td>2</td><td>600</td><td>0</td><td>38</td><td>942</td><td>11,970</td></tr> <tr><td>1</td><td>3</td><td>240</td><td>0</td><td>21</td><td>370</td><td>9,260</td></tr> <tr><td>2</td><td>6</td><td>650</td><td>0</td><td>34</td><td>916</td><td>8,960</td></tr> <tr><td>3</td><td>4</td><td>100</td><td>51,590</td><td>20</td><td>342</td><td>16,380</td></tr> <tr><td>計</td><td>29</td><td>2,645</td><td>197,020</td><td>319</td><td>6,048</td><td>119,380</td></tr> </tbody> </table>							月	ホール			会議室			件数	人数	使用料	件数	人数	使用料	4	1	60	50,100	21	369	7,840	5	0	0	0	23	374	6,090	6	2	180	35,330	30	561	8,750	7	10	280	0	29	695	9,140	8	0	0	0	24	256	8,090	9	0	0	0	25	343	8,890	10	4	235	60,000	25	319	6,650	11	1	300	0	29	561	17,360	12	2	600	0	38	942	11,970	1	3	240	0	21	370	9,260	2	6	650	0	34	916	8,960	3	4	100	51,590	20	342	16,380	計	29	2,645	197,020	319	6,048	119,380
月	ホール			会議室																																																																																																											
	件数	人数	使用料	件数	人数	使用料																																																																																																									
4	1	60	50,100	21	369	7,840																																																																																																									
5	0	0	0	23	374	6,090																																																																																																									
6	2	180	35,330	30	561	8,750																																																																																																									
7	10	280	0	29	695	9,140																																																																																																									
8	0	0	0	24	256	8,090																																																																																																									
9	0	0	0	25	343	8,890																																																																																																									
10	4	235	60,000	25	319	6,650																																																																																																									
11	1	300	0	29	561	17,360																																																																																																									
12	2	600	0	38	942	11,970																																																																																																									
1	3	240	0	21	370	9,260																																																																																																									
2	6	650	0	34	916	8,960																																																																																																									
3	4	100	51,590	20	342	16,380																																																																																																									
計	29	2,645	197,020	319	6,048	119,380																																																																																																									
4. 成果と評価	○ホールの利用は前年度と比べると件数で 7.41%の増、使用料で 30.59%の減、会議室の利用は前年度と比べると件数で 15.87%、使用料で 50.12%の減となっている。ホールの使用料で操作委託料を賄えない状況であり、年間使用件数の増がない限り恒常的な赤字の解消が難しい。						点検結果 B																																																																																																								
5. 今後の課題と方向性	○生涯学習、文化向上のため必要な施設ではあるが、施設の老朽化が進むと、大きな改修が必要と予想され、多額の予算が必要となる。今後は、村民のニーズに対応した施設として、現在のくすのきホールが適当であるのかの検討が必要である。						方向性 B																																																																																																								

・点検結果欄 A：目標を上回って達成 B：概ね目標どおり達成 C：目標を下回った

・方向性欄 A：拡充 B：現状維持 C：見直し D：縮小 E：休止・廃止

平成 30 年度実施教育行政点検評価票

1. 事務事業名称	11 文化振興 (3)くすのきホール図書室運営等						
2. 事業の概要	読書機会の提供による村民の知性、感性を磨く一助とするため、くすのきホール図書室の維持管理、図書の購入、貸し出し業務を行う。 村の文化振興の発展と村民の交流の機会の充実を図るため、コミュニティホールの管理運営を行う。						
3. 平成 29 年度取組状況	○図書室利用状況			○蔵書数 (単位：冊、本)			
	月	貸出冊数	利用者数	一般書	児童書	視聴覚	計
	4	1,037	384	17,216	8,850	303	26,369
	5	962	358				
	6	1,016	356				
	7	1,133	411				
	8	1,380	488				
	9	1,152	413				
	10	906	352				
	11	946	344				
	12	1,177	400				
	1	886	321				
	2	1,018	362				
	3	1,098	408				
	計	12,711 冊	4,597 人				
	○蔵書新規購入数 (単位：冊、本)						
	一般書	児童書	絵本	DVD			
	326	65	26	7			
	○コミュニティホール利用状況						
	件数	人数	使用料				
	58 件	636 人	44,500 円				
	○府立図書館等の図書貸し出しの取次ぎを行った。また、インターネットで図書の検索及び予約サービスを行った。						
4. 成果と評価	○平成 25 年 4 月から始まり河内長野市、富田林市などの近隣 6 市町村での広域貸し出し（相互利用）が始まり、当初は本施設の利用者が他市町の施設の利用に流れたが、現在は落ち着いてきている。 また、本年度は羽曳野市、藤井寺市、松原市とも相互利用協定を締結し、相互利用の拡大を図った。						
5. 今後の課題と方向性	○村民の生涯学習の機会を与えるものであり、村民のニーズに応え、蔵書の充実、資料提供サービス及び子ども向けのおはなし会等の事業を積極的に行い、利用者のニーズを的確に把握し、図書室の充実に努める。						

点検結果	B
方向性	B

・点検結果欄 A：目標を上回って達成 B：概ね目標どおり達成 C：目標を下回った

・方向性欄 A：拡充 B：現状維持 C：見直し D：縮小 E：休止・廃止

平成 30 年度実施教育行政点検評価票

1. 事務事業名称	12 スポーツ振興 (1)施設管理	
2. 事業の概要	村民のスポーツに親しむ場を確保、提供し、村民の健康増進に資するため社会体育施設の維持管理及び貸出し業務を行った。	
3. 平成 29 年度 取組状況	○村民運動場、テニスコート、体育館、プールの維持管理及び貸出業務を村シルバー人材センターに委託して実施した。 ○プールの一般貸出に際して、安全管理業務を民間業者に委託して実施した。 ○各施設利用実績【別紙③参照】 	
4. 成果と評価	○施設の利用状況は、利用者・利用料ともにいずれの施設も横這いである。ただし、近年の異常気象を考えると利用数に減少が見られないのは、平成 25 年度からの村内・村外統一料金化と平成 27 年度から導入した公共施設予約システム（施設の予約状況がパソコンで確認でき、休館日でも予約ができる）の影響が表れてきたもので、システムの利用による予約増の影響とも思われる。	点検結果
		B
5. 今後の課題と 方向性	○村民の健康づくりの場として、施設の有効利用を進めるため、適切な維持管理を続けるとともに、村民以外の個人、団体の利用を促進することにより、施設の有効利用を進める。 ○経年劣化による施設の損傷や非構造部材の落下対策などに留意する必要がある、施設利用者の安全確保のための対策を講じる。	方向性
		B

・点検結果欄 A：目標を上回って達成 B：概ね目標どおり達成 C：目標を下回った

・方向性欄 A：拡充 B：現状維持 C：見直し D：縮小 E：休止・廃止

平成 30 年度実施教育行政点検評価票

1. 事務事業名称	12 スポーツ振興 (2)生涯スポーツ振興	
2. 事業の概要	村民のスポーツに親しむ機会の提供、健康推進のためスポーツに関する教室等を開催。関係団体と連携し、スポーツによる交流機会、競技機会を提供する	
3. 平成 29 年度 取組状況	○村体育協会関係事業【別紙④参照】 村民の健康増進、相互の交流機会の増大のため、村体育協会や同協会加盟団体の主催するスポーツ大会を後援するほか、村で開催される広域開催のスポーツ大会に共催者として参画した。 ○B&G海洋センター関係事業【別紙⑤参照】 大阪府海洋センター連絡協議会加盟団体とともに、海洋スポーツの普及のための事業を実施した。 また、B&G海洋センター関係団体の実施する研修会などに参加した。 ○村スポーツ推進委員協議会事業【別紙⑥参照】 村民へのスポーツ普及のための活動を実施した。 ○村体育協会及び同協会加盟団体の活動支援のため、補助を行った。	
4. 成果と評価	○体育協会加盟の団体数、人数が減少している中、スポーツ大会は、従来どおり開催された。参加者が少ないと活気が失われるおそれがあり、種目の変更などの工夫が必要である。	点検結果
		B
5. 今後の課題と 方向性	○できるだけ多くの村民が参加できるような事業を実施するとともに、生涯スポーツの視点から、継続的な教室プログラムについても検討していく必要がある。 ○各種研修会に参加し指導員の資質向上を図る。	方向性
		B

・点検結果欄 A：目標を上回って達成 B：概ね目標どおり達成 C：目標を下回った

・方向性欄 A：拡充 B：現状維持 C：見直し D：縮小 E：休止・廃止

平成 30 年度実施教育行政点検評価票

1. 事務事業名称	13 青少年の育成																																									
2. 事業の概要	村青少年の健全な育成を図る。																																									
3. 平成 29 年度取組状況	○学童保育 学童保育連絡会は、平成元年に民営により設立され、千早小吹台小学校の敷地内の学童保育室で実施し、運営補助として、大阪府補助金 100 万円、村から 50 万円を交付した。 入所児童数 <table border="1"> <tr> <td>1 年生</td><td>2 年生</td><td>3 年生</td><td>4 年生</td><td>5 年生</td><td>6 年生</td><td>計</td></tr> <tr> <td>10</td><td>16</td><td>14</td><td>3</td><td>6</td><td>2</td><td>51 人</td></tr> </table> ○PTA活動 日本PTA近畿ブロック研究大会大阪府大会への参加、スポーツ交流会を通じて、PTA相互の親睦を図った。 南河内地区PTA連絡協議会、大阪府PTA連絡協議会事業にも参加した。 村より補助金 40,000 円を交付した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>月 日</th><th>内 容</th><th>概 要</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4 月 8 日</td><td>新旧引継ぎ会</td><td>新旧役員の引継ぎ</td></tr> <tr> <td>5 月 13 日</td><td>総会</td><td>平成 29 年度事業計画（案）・予算（案）等</td></tr> <tr> <td>6 月 10 日</td><td>第 1 回実行委員会</td><td>事業について、第 43 回日本PTA近畿ブロック研究大会大阪府大会への参加について</td></tr> <tr> <td>9 月 2 日</td><td>第 2 回実行委員会</td><td>同上</td></tr> <tr> <td>10 月 27 日</td><td>第 43 回日本PTA近畿ブロック研究大会大阪府大会</td><td>分科会、全体会 他</td></tr> <tr> <td>11 月 25 日</td><td>第 3 回実行委員会</td><td>第 43 回日本PTA近畿ブロック研究大会大阪府大会の反省、親睦交流会について</td></tr> <tr> <td>12 月 2 日</td><td>親睦交流会</td><td>ニュースポーツ（ラダーゲッター）等 53 人</td></tr> <tr> <td>平成 30 年 2 月 3 日</td><td>第 4 回実行委員会</td><td>事業の反省等</td></tr> </tbody> </table>  	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生	計	10	16	14	3	6	2	51 人	月 日	内 容	概 要	4 月 8 日	新旧引継ぎ会	新旧役員の引継ぎ	5 月 13 日	総会	平成 29 年度事業計画（案）・予算（案）等	6 月 10 日	第 1 回実行委員会	事業について、第 43 回日本PTA近畿ブロック研究大会大阪府大会への参加について	9 月 2 日	第 2 回実行委員会	同上	10 月 27 日	第 43 回日本PTA近畿ブロック研究大会大阪府大会	分科会、全体会 他	11 月 25 日	第 3 回実行委員会	第 43 回日本PTA近畿ブロック研究大会大阪府大会の反省、親睦交流会について	12 月 2 日	親睦交流会	ニュースポーツ（ラダーゲッター）等 53 人	平成 30 年 2 月 3 日	第 4 回実行委員会	事業の反省等
1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生	計																																				
10	16	14	3	6	2	51 人																																				
月 日	内 容	概 要																																								
4 月 8 日	新旧引継ぎ会	新旧役員の引継ぎ																																								
5 月 13 日	総会	平成 29 年度事業計画（案）・予算（案）等																																								
6 月 10 日	第 1 回実行委員会	事業について、第 43 回日本PTA近畿ブロック研究大会大阪府大会への参加について																																								
9 月 2 日	第 2 回実行委員会	同上																																								
10 月 27 日	第 43 回日本PTA近畿ブロック研究大会大阪府大会	分科会、全体会 他																																								
11 月 25 日	第 3 回実行委員会	第 43 回日本PTA近畿ブロック研究大会大阪府大会の反省、親睦交流会について																																								
12 月 2 日	親睦交流会	ニュースポーツ（ラダーゲッター）等 53 人																																								
平成 30 年 2 月 3 日	第 4 回実行委員会	事業の反省等																																								

	○青少年指導 ・青少年指導員を13人委嘱し、村青少年の健全な育成を目指して活動した。 ・南河内ブロックや大阪府青少年指導員連絡協議会事業に参加した。 ・村青少年指導員連絡協議会事業【別紙⑦参照】 夏と冬にジュニアリーダーズスクールを行った。今後は多種多様な事業内容の提供を目指す。 毎月5日には愛の一声運動として公用車を使用し、村内を巡回した。 ・児童・生徒の非行及び犯罪被害の防止を図り、健全育成対策を効果的に推進するため、大阪府警察本部と「児童・生徒の健全育成に関する学校・警察相互連絡制度の協定」を締結した。 ○成人式 月 日 1月 8日(月・祝) 場 所 くすのきホール 上 映 「皆さんの生まれ育った、千早赤阪村の歩みと皆さんの思い出の1ページ」 第1部 式典 第2部 アトラクション、記念撮影 対象者 47人(男性19人、女性28人) 参加者 41人(男性19人、女性22人)	
4. 成果と評価	○PTA活動事業では、スポーツ交流会等を通じて、PTA相互の連携を密にし、充実・発展が図れた。 ○ジュニアリーダーズスクールは小学生の参加により中学校での顔合わせの目的がある。 ○成人式の開催は、新たな成人となる若者を祝福し、成人としての自覚を促すため、有意義であった。	点検結果 B
5. 今後の課題と方向性	○青少年の育成指導、近年の青少年を取り巻く社会環境の浄化等、青少年の健全育成にさらに積極的に取り組んでいく。 ○現在、青少年指導員の定員を割っている状態で、指導員からは活動をさらに充実させるため、指導員の増加を要望されており、新たな人材への委嘱を検討する。	方向性 B

・点検結果欄 A：目標を上回って達成 B：概ね目標どおり達成 C：目標を下回った

・方向性欄 A：拡充 B：現状維持 C：見直し D：縮小 E：休止・廃止

平成 30 年度実施教育行政点検評価票

1. 事務事業名称	14 文化財保護	
2. 事業の概要	村内の文化財や、埋蔵文化財などの調査・保護・活用を行う。	
3. 平成 29 年度取組状況	○文化財の管理 発掘調査（0 件）、史跡き損（1 件）、復旧（1 件）、現状変更（5 件） ○指定文化財の保存 国重要文化財建水分神社の防災についての指導を行った。 ○普及活動 村民大学等により郷土の歴史の普及啓発活動を行った。	
4. 成果と評価	○村内文化財の適切な管理、保全ができた。 ○村内外に村の文化財など歴史資源の紹介ができた。	点検結果
		B
5. 今後の課題と方向性	○文化財保護法による記録保護目的の発掘調査や、これまでの発掘調査についての成果報告を行う。 ○普及活動や観光資源としての文化財利用を積極的に行っていく。	方向性
		B

・点検結果欄 A：目標を上回って達成 B：概ね目標どおり達成 C：目標を下回った

・方向性欄 A：拡充 B：現状維持 C：見直し D：縮小 E：休止・廃止

平成 30 年度実施教育行政点検評価票

1. 事務事業名称	15 郷土資料館管理																																																																																			
2. 事業の概要	法人名 一般社団法人千早赤阪楠公史跡保存会（代表者 代表理事 木ノ本 雅伸） 所在地 大阪府南河内郡千早赤阪村大字水分 266 主な事業内容 千早赤阪村立郷土資料館管理運営、道の駅管理運営、景観向上事業																																																																																			
3. 平成 29 年度 取組状況	○講演会・見学会 <table border="1"> <thead> <tr> <th>開講日</th> <th>活 動</th> <th>場 所</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4 月 25 日</td> <td>楠公祭に協力</td> <td>楠公誕生地</td> <td>8 人</td> </tr> <tr> <td>5 月 9 日</td> <td>学芸員補になる勉強会</td> <td>資料館研修室</td> <td>11 人</td> </tr> <tr> <td>5 月 20 日</td> <td>森屋のむかし話探訪</td> <td>森屋地区</td> <td>9 人</td> </tr> <tr> <td>6 月 13 日</td> <td>掛物の取り扱い</td> <td>資料館研修室</td> <td>16 人</td> </tr> <tr> <td>6 月 15 日</td> <td>富岡鉄斎美術館・堺市博物館</td> <td>宝塚市、堺市</td> <td>4 人</td> </tr> <tr> <td>7 月 11 日</td> <td>美術品の取り扱い方</td> <td>資料館研修室</td> <td>9 人</td> </tr> <tr> <td>7 月 15 日</td> <td>講義「難攻不落の千早城」</td> <td>資料館研修室</td> <td>12 人</td> </tr> <tr> <td>7 月 25 日</td> <td>夏休み体験講座「平成土器をつくる」</td> <td>資料館研修室</td> <td>29 人</td> </tr> <tr> <td>9 月 12 日</td> <td>展示物のキャプションづくり</td> <td>資料館研修室</td> <td>9 人</td> </tr> <tr> <td>9 月 16 日</td> <td>年表づくり</td> <td>資料館研修室</td> <td>9 人</td> </tr> <tr> <td>10 月 17 日</td> <td>展示物のキャプションづくり</td> <td>資料館研修室</td> <td>9 人</td> </tr> <tr> <td>10 月 22 日</td> <td>上赤坂城跡と野草塩づくり</td> <td>上赤坂城跡、 ラ・フォレスト</td> <td>12 人</td> </tr> <tr> <td>10 月 27, 28 日</td> <td>ふれあい展での展示：「てくてくマップ」</td> <td>くすのきホール</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>11 月 20 日</td> <td>社会見学</td> <td>京都宇治、 一乗寺下がり松</td> <td>16 人</td> </tr> <tr> <td>平成 30 年 1 月 20 日</td> <td>年表づくり</td> <td>資料館研修室</td> <td>10 人</td> </tr> <tr> <td>2 月 20 日</td> <td>中之島図書館展示の件</td> <td>資料館研修室</td> <td>11 人</td> </tr> <tr> <td>3 月 17 日</td> <td>講義「遺跡を楽しむ！」</td> <td>資料館研修室</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>3 月 17 日</td> <td>平成 30 年度史友会総会</td> <td>資料館研修室</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>3 月 20 日</td> <td>中之島図書館展示の件</td> <td>資料館研修室</td> <td>11 人</td> </tr> </tbody> </table> ○企画展示 なし				開講日	活 動	場 所	人数	4 月 25 日	楠公祭に協力	楠公誕生地	8 人	5 月 9 日	学芸員補になる勉強会	資料館研修室	11 人	5 月 20 日	森屋のむかし話探訪	森屋地区	9 人	6 月 13 日	掛物の取り扱い	資料館研修室	16 人	6 月 15 日	富岡鉄斎美術館・堺市博物館	宝塚市、堺市	4 人	7 月 11 日	美術品の取り扱い方	資料館研修室	9 人	7 月 15 日	講義「難攻不落の千早城」	資料館研修室	12 人	7 月 25 日	夏休み体験講座「平成土器をつくる」	資料館研修室	29 人	9 月 12 日	展示物のキャプションづくり	資料館研修室	9 人	9 月 16 日	年表づくり	資料館研修室	9 人	10 月 17 日	展示物のキャプションづくり	資料館研修室	9 人	10 月 22 日	上赤坂城跡と野草塩づくり	上赤坂城跡、 ラ・フォレスト	12 人	10 月 27, 28 日	ふれあい展での展示：「てくてくマップ」	くすのきホール	中止	11 月 20 日	社会見学	京都宇治、 一乗寺下がり松	16 人	平成 30 年 1 月 20 日	年表づくり	資料館研修室	10 人	2 月 20 日	中之島図書館展示の件	資料館研修室	11 人	3 月 17 日	講義「遺跡を楽しむ！」	資料館研修室	—	3 月 17 日	平成 30 年度史友会総会	資料館研修室	—	3 月 20 日	中之島図書館展示の件	資料館研修室	11 人
開講日	活 動	場 所	人数																																																																																	
4 月 25 日	楠公祭に協力	楠公誕生地	8 人																																																																																	
5 月 9 日	学芸員補になる勉強会	資料館研修室	11 人																																																																																	
5 月 20 日	森屋のむかし話探訪	森屋地区	9 人																																																																																	
6 月 13 日	掛物の取り扱い	資料館研修室	16 人																																																																																	
6 月 15 日	富岡鉄斎美術館・堺市博物館	宝塚市、堺市	4 人																																																																																	
7 月 11 日	美術品の取り扱い方	資料館研修室	9 人																																																																																	
7 月 15 日	講義「難攻不落の千早城」	資料館研修室	12 人																																																																																	
7 月 25 日	夏休み体験講座「平成土器をつくる」	資料館研修室	29 人																																																																																	
9 月 12 日	展示物のキャプションづくり	資料館研修室	9 人																																																																																	
9 月 16 日	年表づくり	資料館研修室	9 人																																																																																	
10 月 17 日	展示物のキャプションづくり	資料館研修室	9 人																																																																																	
10 月 22 日	上赤坂城跡と野草塩づくり	上赤坂城跡、 ラ・フォレスト	12 人																																																																																	
10 月 27, 28 日	ふれあい展での展示：「てくてくマップ」	くすのきホール	中止																																																																																	
11 月 20 日	社会見学	京都宇治、 一乗寺下がり松	16 人																																																																																	
平成 30 年 1 月 20 日	年表づくり	資料館研修室	10 人																																																																																	
2 月 20 日	中之島図書館展示の件	資料館研修室	11 人																																																																																	
3 月 17 日	講義「遺跡を楽しむ！」	資料館研修室	—																																																																																	
3 月 17 日	平成 30 年度史友会総会	資料館研修室	—																																																																																	
3 月 20 日	中之島図書館展示の件	資料館研修室	11 人																																																																																	

4. 成果と評価	○入館者数 3,974人（H26：3,796人、H27：3,716人、H28：3,781人） （目標：4,000人に届かず）	点検結果
		B
5. 今後の課題と方向性	○平成30年度から指定管理を辞め、建物等監理委託とした。 ○委託先である保存会職員の展示資料に対する専門的な知識向上のため、展示資料学習会等を実施していく。 ○地域住民と一体になり、資料館をよりよくするためにはどうすれば良いか、考え変えていく場として、村民大学博物館講座を平成29年度から開講している。今後も引き続き開講し、村民協働による資料館運営を目指す。	方向性
		B

・点検結果欄 A：目標を上回って達成 B：概ね目標どおり達成 C：目標を下回った

・方向性欄 A：拡充 B：現状維持 C：見直し D：縮小 E：

別 紙

学校保健取組み状況【別紙①】

○健康診断

項 目	赤阪小	千早小吹台小	中学校	こごせ幼稚園	対象(人)
結核定期健康診断（問診）	4月1日～4月30日			－	320
内科検診・運動器検診	5月18日	5月15日	5月17日	5月16日	349
心臓検診（小1、中1）	4月25日			－	68
尿検査	春期 1次4月21日・2次5月10日				349
	秋期 1次11月8日・2次11月16日				349
耳鼻咽喉科検診（幼3・4歳児、小1・4、中1）	5月22日				113
眼科検診	5月12日				349
歯科検診	6月8日	6月15日	6月15日	6月8日	349
修学旅行前検診（小6）	10月3日	10月2日	－	－	36
就学時健診	11月9日	11月9日	－	－	33
教職員健康診断	11月29日・30日				33

○歯みがき指導

学 校	実施日	指導法・内容
赤阪小	7月11日	透明プラスチックコップで歯ブラシの汚れ確認
千早小吹台小	6月27日	染色・ブラッシング指導・位相差顕微鏡・紙芝居・クイズ
中学校(2年生)	6月20日	ブラッシング指導・染色・位相差顕微鏡
こごせ幼稚園	6月23日	ブラッシング指導・染色・エプロンシアター・お口の体操

学校給食の実施状況【別紙②】

(単位：回、食、円)

月	実施回数 ※1			調理食数	給食費 ※2	物資購入費	委託料	
	小学校	中学校	幼稚園				調理費	配送費
4	14	11	4	5,115	1,526,605	1,720,856	2,689,956	64,800
5	19	18	11	7,497	1,601,225	2,303,560	2,689,956	68,958
6	22	20	12	8,588	1,621,170	2,595,704	2,689,956	71,118
7	8	8	4	3,288	1,599,910	965,673	2,689,956	64,800
8	2	2	0	781	(※4)－	167,456	(※4)－	38,016
9	18	20	11	7,225	1,613,735	2,283,307	2,689,956	65,480
10	21	18	10	8,051	1,640,805	2,393,242	2,689,956	70,426
11	19	17	11	7,234	1,597,825	2,154,560	2,689,956	67,446
12	11	9	7	4,329	1,597,645	1,303,002	2,689,956	64,800
1	16	16	9	6,427	1,608,095	1,911,792	2,689,956	68,504
2	19	18	10	7,626	1,609,290	2,500,358	2,689,956	70,696
3	13	14	5	4,961	1,597,860	1,645,119	2,689,956	64,800
計	182	172	94	71,122	17,614,165	21,944,629	29,598,909	779,844

※1 小学1年生 年間178回、中学3年生 156回、幼稚園3歳児 90回

※2 千早赤阪村学校給食費補助金（平成29年度実績額：4,246,785円）等は含めない。

※3 給食費（月額）小学1～3年生 4,500円（小学1年生4月 3,400円）

小学4～6年生 4,600円

中学1～2年生 5,580円

中学3年生 5,090円

幼稚園 2,350円（4・5歳児4月 1,050円、3歳児5月から徴収）

※4 8月分の給食費、委託料（調理費）は、9月分に合わせて計上。

体育施設利用実績【別紙③】

単位：人、円

月	村民運動場		テニスコート		体 育 館		プ ー ル	
	人数	使用料	人数	使用料	人数	使用料	人数	使用料
4	1,029	110,600	582	55,000	1,669	183,950		
5	854	65,000	324	40,000	1,343	124,900		
6	894	84,625	311	67,500	1,534	178,650	1,352	0
7	1,204	118,125	381	52,750	2,814	150,480	1,974	0
8	714	68,875	324	47,750	1,548	169,300	2,689	334,725
9	1,016	136,750	365	49,000	3,928	184,300		
10	606	63,125	168	33,750	2,407	149,750		
11	1,876	84,500	240	34,250	1,436	169,100		
12	711	90,500	0	0	1,261	110,000		
1	755	83,000	313	41,500	1,934	167,200		
2	1,249	88,000	321	48,500	1,093	149,350		
3	1,090	91,725	497	51,750	1,784	155,450		
計	11,990	1,084,825	3,826	521,750	22,834	1,892,400	6,015	334,725

村体育協会関係事業【別紙④】

開催日	大 会	主 催	後 援	場 所	参加者
3月29日	村民ゴルフ	村ゴルフ連盟	体協・教委	グロワールゴルフクラブ	80人
4月2日 4月9日	春季ソフトボール大会	体協	教委	村民運動場	120人
4月9日	春季ソフトバレーボール大会	村バレーボール連盟	体協	海洋センター	30人
5月7日	春季テニス大会	体協	教委	村立テニスコート	20人
5月14日	春季軟式野球大会	体協	教委	村民運動場	240人
6月4日 6月11日	大阪府総合体育大会・南河内地 区大会(ソフトボール一般男子)	※1		村民運動場	160人
7月2日	B&G 会長杯空手道大会	村空手道クラブ	体協・教委	海洋センター	500人
9月10日 9月17日	秋季軟式野球大会	村軟式野球連盟	体協	村民運動場	360人

10月1日 10月8日	秋季ソフトボール大会	村ソフトボール連盟	体協	村民運動場	120人
10月21日	秋季テニス大会	村テニス連盟	体協	村立テニスコート	20人
11月19日	村民スポーツ フェスティバル	体協	教委	くすのきホール	中止
11月26日	少年ソフトボールくすのき杯	村少年ソフトボールクラブ	体協・教委	村民運動場	350人
2月4日	第61回南大阪駅伝競走大会	※2		PL教団本庁内	198チーム
2月18日 2月25日	少年サッカーくすのき杯	少年サッカークラブ	体協・教委	村民運動場	450人

※1：大阪府体育連合、大阪府教育委員会、財団法人大阪体育協会、各市町村体育協会、各市町村教育委員会と共催。

※2：南河内地区市町村教育委員会、南河内地区社会教育振興協議会、南河内地区生涯スポーツ推進協議会と共催。

B&G海洋センター関係事業【別紙⑤】

開催日	事業名	場所	参加者	主催
7月 21～25日	夏休み子ども水泳教室 (幼児教室・児童教室)	千早赤阪村 B&G海洋センター プール	60人(村外含) 幼児19人 児童41人	教育課
8月 10～11日	近畿ブロック地域海洋センター連絡協議会 スポーツ交流会「マリンスポーツの集い」 (マリンスポーツ体験会等)	滋賀県高島市	全体27人	近畿海洋センター 連絡協議会
8月18日	大阪府海洋センター連絡協議会 マリンスポーツ体験会inびわ湖 (カヌー、釣り体験、ウォーターチューブ等)	滋賀県大津市 オーパル	全体28人	大阪府海洋センタ ー連絡協議会

※大阪府海洋センター連絡協議会（千早赤阪村・能勢町・堺市美原）事業

村スポーツ推進委員協議会事業【別紙⑥】

開催日	内 容	場 所
4 月 7 日	第 1 回協議会	くすのきホール
5 月 13 日	南河内地区スポーツ推進委員連絡会代表者会議	富田林市
7 月 20 日	南河内地区スポーツ推進委員連絡会役員会	河南町
8 月 21 日	南河内地区スポーツ推進委員連絡会代表者会議	河南町
8 月 29 日	第 2 回協議会	くすのきホール
9 月 16 日	大阪府スポーツ推進委員研修会	豊中市文化芸術センター
11 月 13 日	第 3 回協議会	くすのきホール
11 月 19 日	村民スポーツフェスティバル	くすのきホール～ 村内コース
12 月 2 日	ニューススポーツ講習会	B & G 海洋センター
12 月 9 日	南河内地区スポーツ推進委員連絡会代表者会議	羽曳野市
1 月 29 日	第 4 回協議会	くすのきホール
2 月 4 日	南大阪駅伝大会	PL 教団本庁内
3 月 26 日	第 5 回協議会	河内長野市
3 月 26 日	南河内地区スポーツ推進委員連絡会代表者会役員会	河南町

村青少年指導員連絡協議会事業【別紙⑦】

①村青少年指導員連絡協議会の開催

月 日	内 容	場 所
5 月 29 日	総会	くすのきホール
6 月 22 日	第 2 回委員会	くすのきホール
11 月 8 日	第 3 回委員会	くすのきホール
12 月 14 日	第 4 回委員会	くすのきホール
2 月 16 日	第 5 回委員会	くすのきホール

②ジュニアリーダースクールの開催

月 日	内 容	場 所	参加人数
8 月 1 日	キャンプでカレーを作ろう	多目的広場	30 人
3 月 4 日	環状線ツアー～大阪城	大阪市	30 人

③啓発事業

月 日	内 容	場 所
4 月～3 月	『愛の一声運動』 毎月 5 日 計 1 2 回	村内全域
7 月～9 月	『あいさつの励行標語』の実施 応募総数 176 点	小学校 5・6 年生・中学生
11 月 18 日	『あいさつ運動』 校門前であいさつ・啓発グッズ 配布	中学校
11 月 19 日	『あいさつ運動』 校門前であいさつ・啓発グッズ 配布	赤阪小学校・千早小吹台小学校

④南河内ブロック青少年指導員連絡協議会事業への参加

月 日	内 容	場 所
6 月 16 日	大阪府 総会	大阪歴史博物館
6 月 7 日	南河内ブロック 第 1 回委員会	河内長野市
8 月 18 日	南河内ブロック 第 2 回委員会	河内長野市
9 月 2 日	大阪府 研修会・役員会	クレオ大阪
9 月 30 日	南河内ブロック 親睦交流会	河南町ふくふくドーム
10 月 17 日	南河内ブロック 第 3 回委員会	大阪狭山市活動支援センター
2 月 10 日	南河内ブロック 研修講演会	大阪狭山市さやかホール